

2009年3月期決算説明会

2009年5月21日

JUKI株式会社

取締役社長 中村 和之

Mind & Technology

JUKI

Mind & Technology

目次

第1部 09/3期(08年度)業績

1. 業績のポイント	3
2. 業績推移	4
3. 主要財務項目推移	6
4. キャッシュフロー推移	7

第2部 セグメント別業績

1. セグメント別業績推移	9
2. 工業用マシン事業	11
3. 産業装置事業	14
4. 家庭用マシン事業	17
5. 電子・精密機器事業	18
6. 精密鋳造事業	19
7. その他事業	20
(ご参考) 人員推移	21

第3部 10/3期(09年度)計画と事業戦略

1. 計画の考え方	23
2. セグメント別事業戦略	
(1)工業用マシン事業戦略	24
(2)産業装置事業戦略	27
(3)家庭用マシン事業戦略	29
3. 計画	30
4. セグメント別計画	31
5. 株主還元の考え方	33

第1部

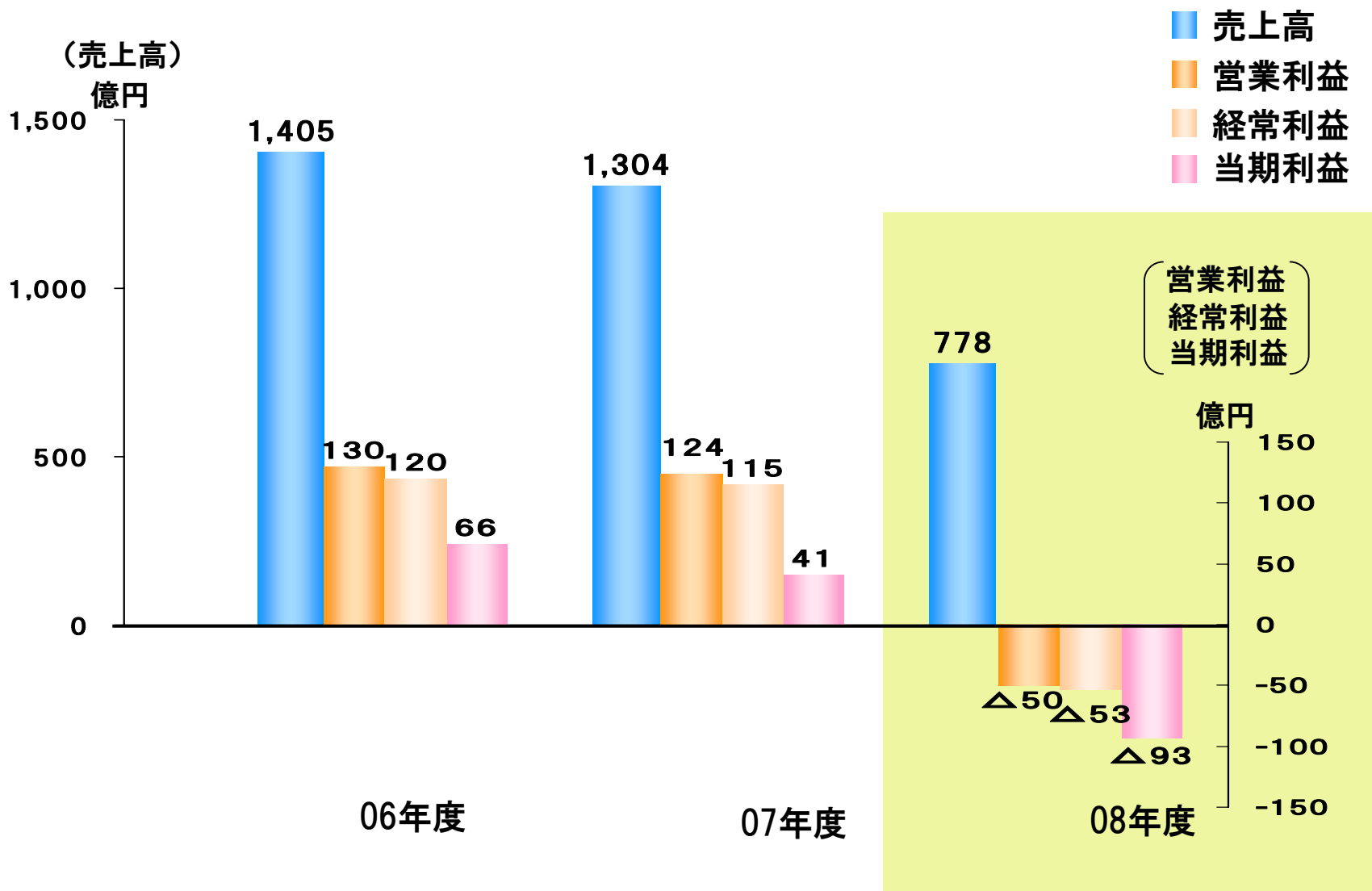
09/3期(08年度)業績

売上高は40.3%減少。事業再編に伴う特別損失等もあり 最終利益は93億円の赤字

1. 売上高は前年比525億円減の778億円。全部門で減少
2. 営業利益は前年比173億円減少し、50億円の赤字
経常利益は前年比168億円減少し、53億円の赤字
3. 当期純利益は特別損失46億円の計上により93億円の赤字
[特別損失の主な内訳]
 - ・事業再編に伴う特別損失35億円
(家庭用マシン関連17億円、工業用マシン関連16億円、
その他2億円)
 - ・会計基準変更に伴う棚卸資産評価損4億円
 - ・投資有価証券にかかわる評価損4億円 等
4. 中間配当は5円/株を実施。期末配当は見送り

単位:百万円

	06年度 (利益率)	07年度 (利益率)	08年度 (利益率)	07年度比 増減額	07年度比 増減率
売上高	140,497	130,351	77,832	△52,519	△40.3%
営業利益	12,995 (9.3%)	12,352 (9.5%)	△4,975 (△6.4%)	△17,327	—
経常利益	11,962 (8.5%)	11,516 (8.8%)	△5,259 (△6.8%)	△16,775	—
(特別損失)	(△673)	(△3,930)	(△4,635)	(△705)	(△17.9%)
当期純利益	6,594 (4.7%)	4,126 (3.2%)	△9,347 (△12.0%)	△13,473	—
配当	10円/株	10円/株	5円/株	△5円/株	—



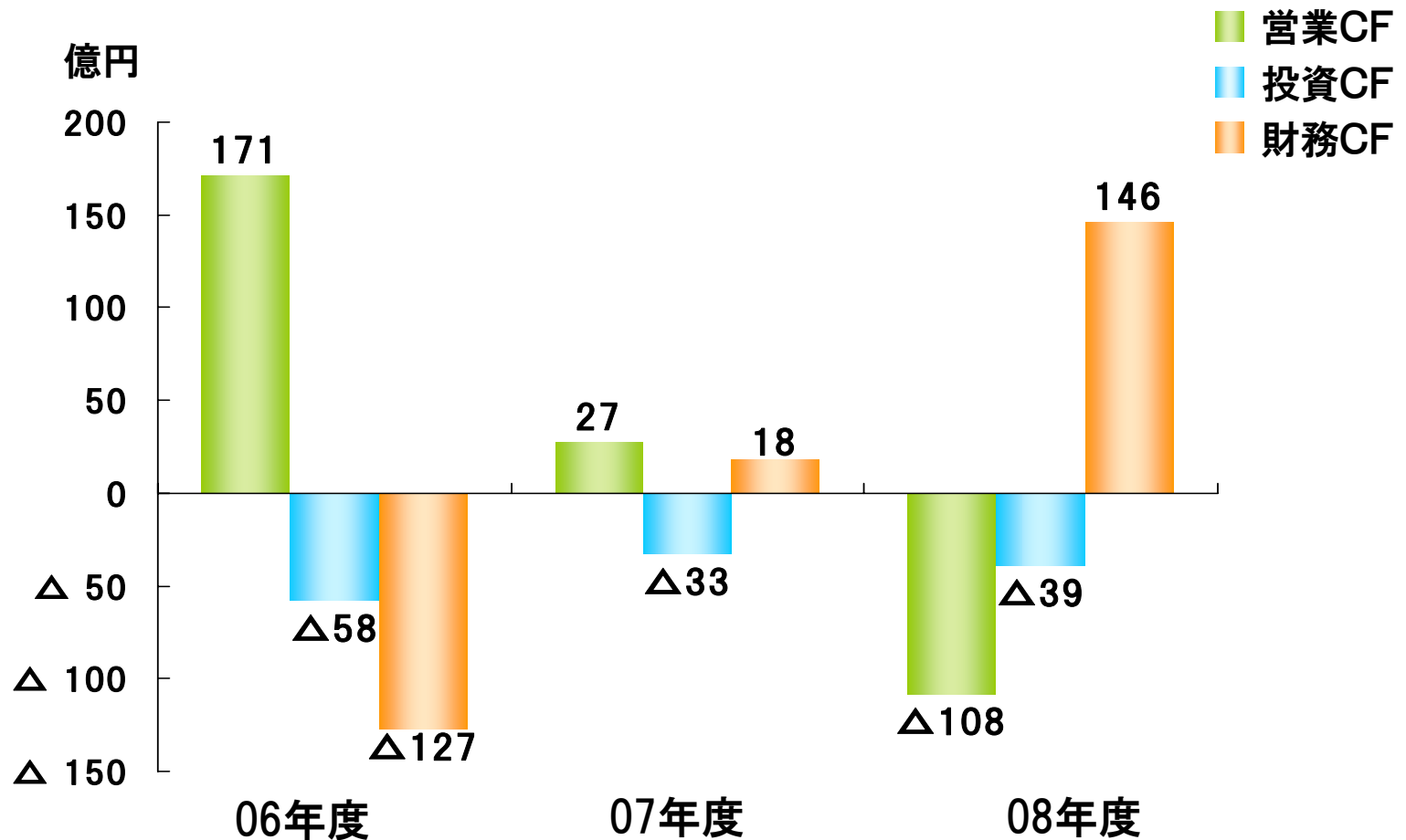
有利子負債が150億円増。純資産は155億円の減

単位:百万円

	06年度末	07年度末	08年度末	07年度末比 増減額	07年度末比 増減率
総資産	114,943	117,635	103,654	△13,981	△11.9%
在庫	37,526	42,240	36,070	△6,170	△14.6%
有利子負債	37,616	40,994	56,001	15,007	36.6%
純資産	33,816	37,100	21,589	※△15,511	△41.8%
(自己資本比率)	(29.1%)	(31.3%)	(20.6%)	△10.7%	(-)

※純資産△155億円の内訳(利益△93億円、為替換算調整勘定△48億円、配当△13億円)

営業CFは7年振りのマイナスに



第2部

セグメント別業績と事業戦略

工業用マシンは前年比320億円の減。訪問販売は完全撤退

単位：百万円

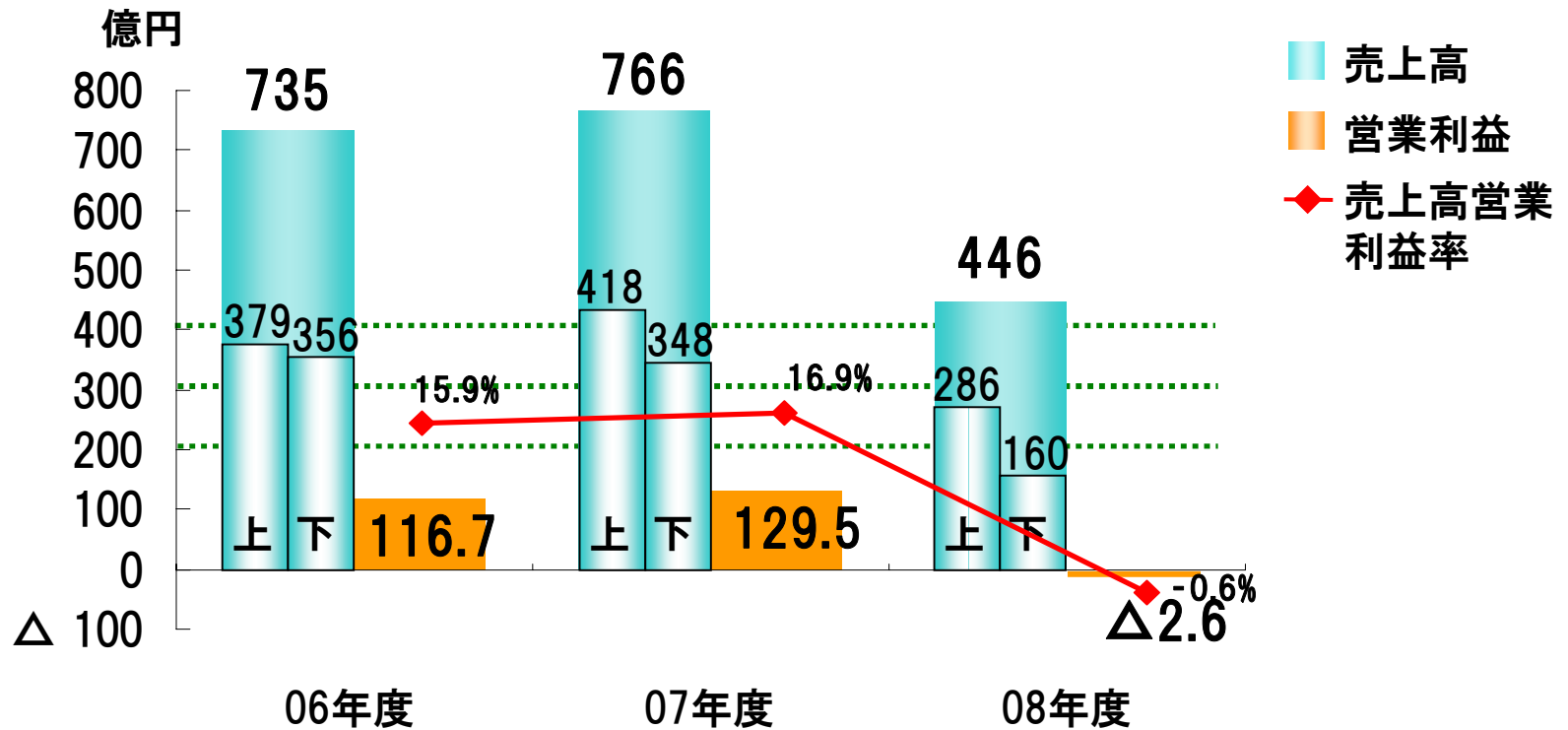
	06年度	07年度	08年度	07年度比 増減額	07年度比 増減率
工業用マシン	73,459	76,625	44,584	△32,041	△41.8%
産業装置	31,388	29,812	19,960	△9,852	△33.0%
家庭用マシン (うち訪問販売)	8,599 (5,469)	5,983 (3,119)	2,356 (0)	△3,627	△60.6%
電子・精密機器	16,704	9,596	5,339	△4,257	△44.4%
精密鑄造	3,942	4,046	3,755	△291	△7.2%
その他 (うち訪問販売)	6,403 (2,875)	4,286 (1,595)	1,835 (0)	△2,451	△57.2%
売上高合計	140,497	130,351	77,832	△52,519	△40.3%
(訪問販売合計)	(8,344)	(4,714)	(0)	(△4,714)	(—)

工業用マシン、産業装置とも営業赤字に

単位:百万円

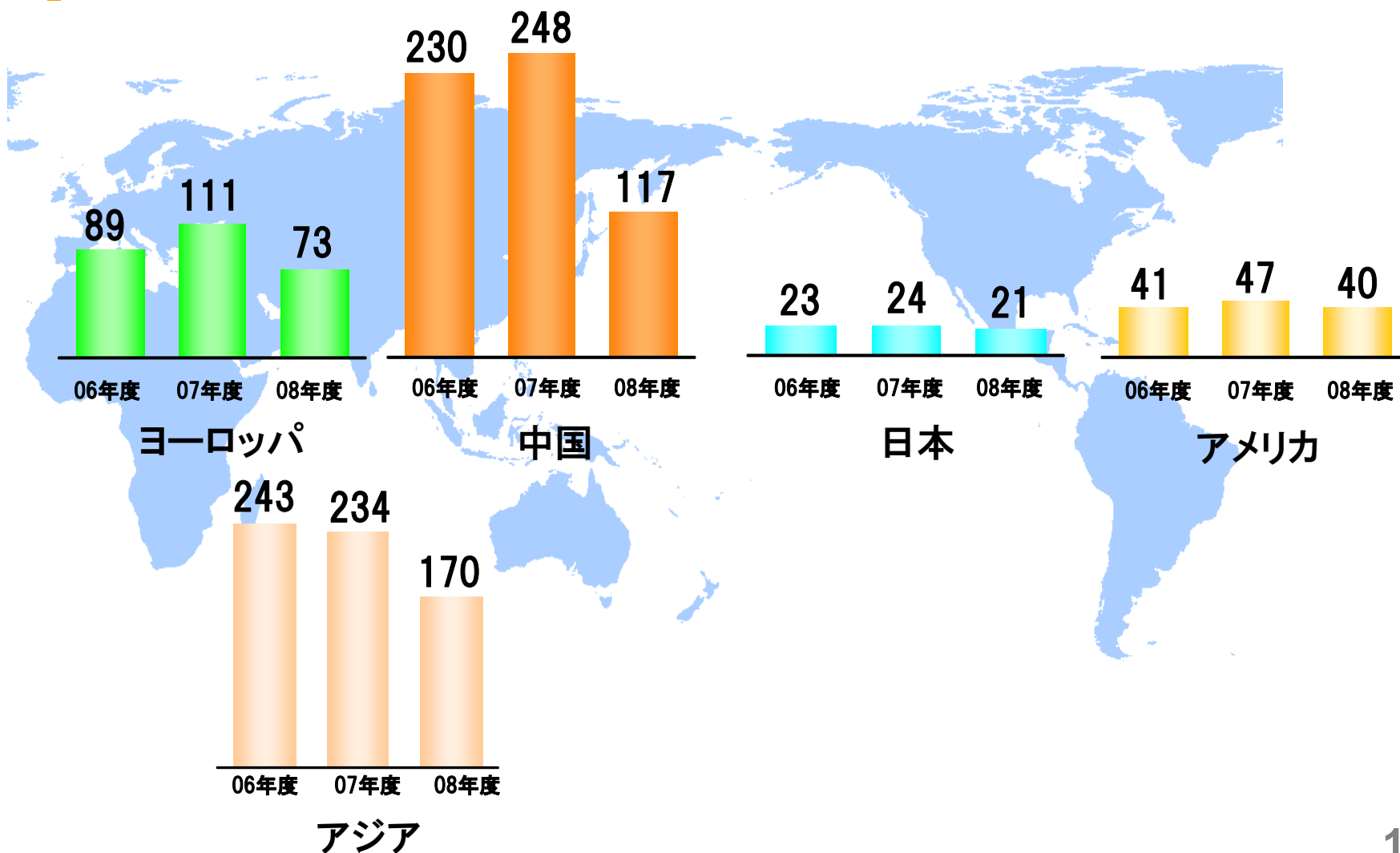
	06年度	07年度	08年度	07年度比 増減額	07年度比 増減率
工業用マシン	11,670	12,947	△258	△13,205	—
産業装置	2,922	1,978	△1,793	△3,771	—
家庭用マシン	△1,458	△1,775	△1,536	239	—
電子・精密機器	1,828	715	415	△300	△42.0%
精密鑄造	98	165	98	△67	△40.6%
その他	△307	△284	△284	0	—
消去	△1,758	△1,394	△1,616	△222	—
営業利益合計	12,995	12,352	△4,975	△17,327	—

08下期の売上高は前年同期比54%減の160億円

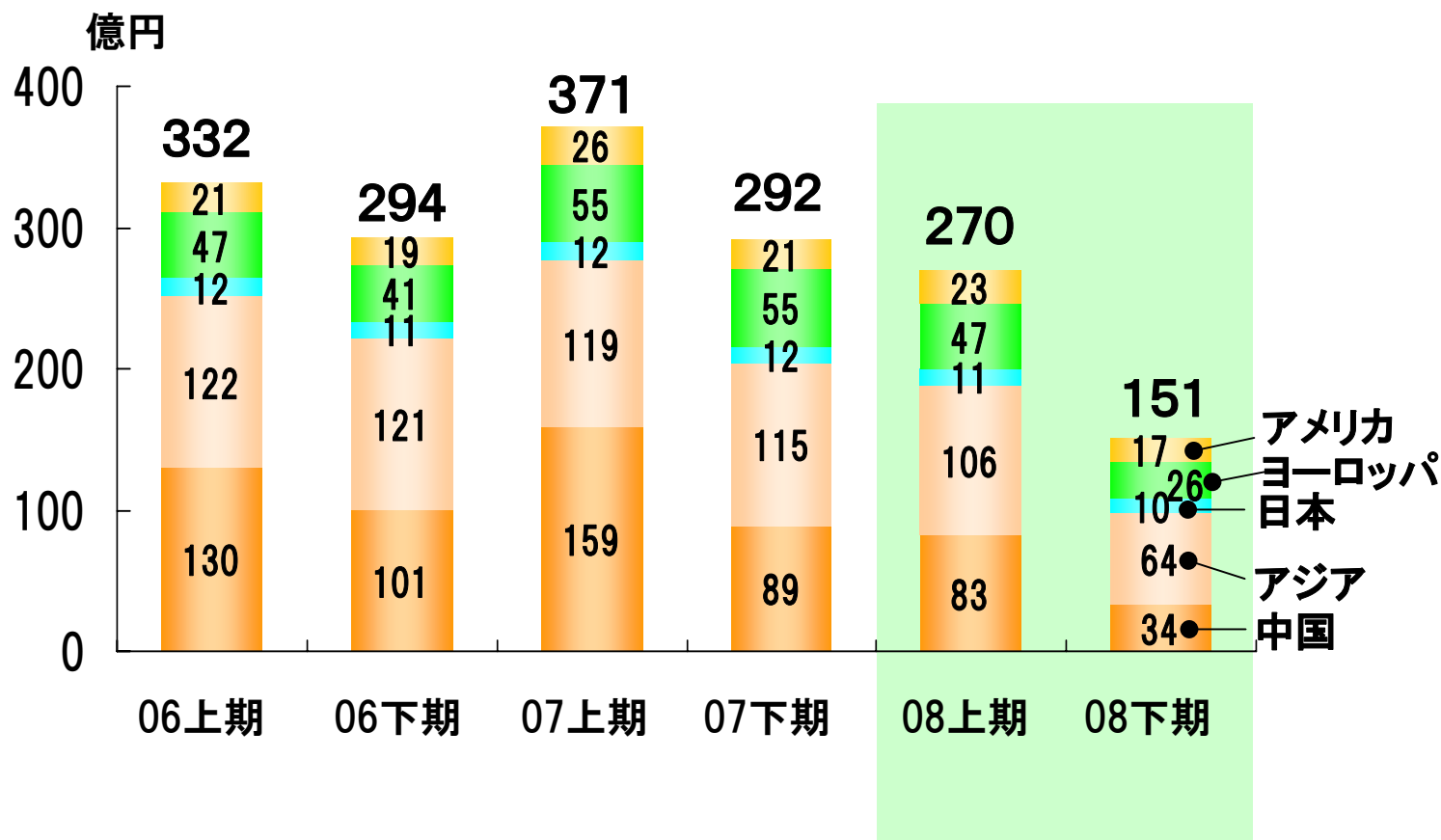


中国は前年比半減

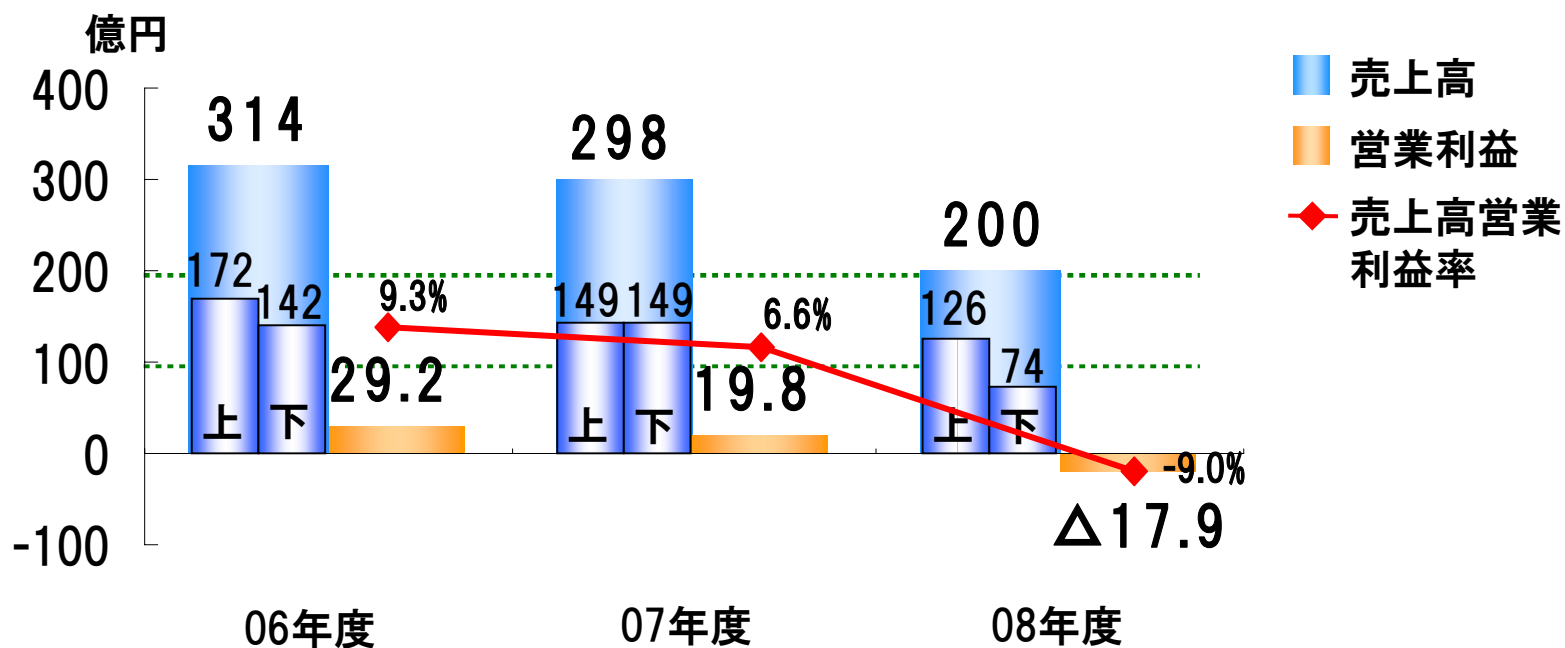
金額:億円



08下期は全地域で減少

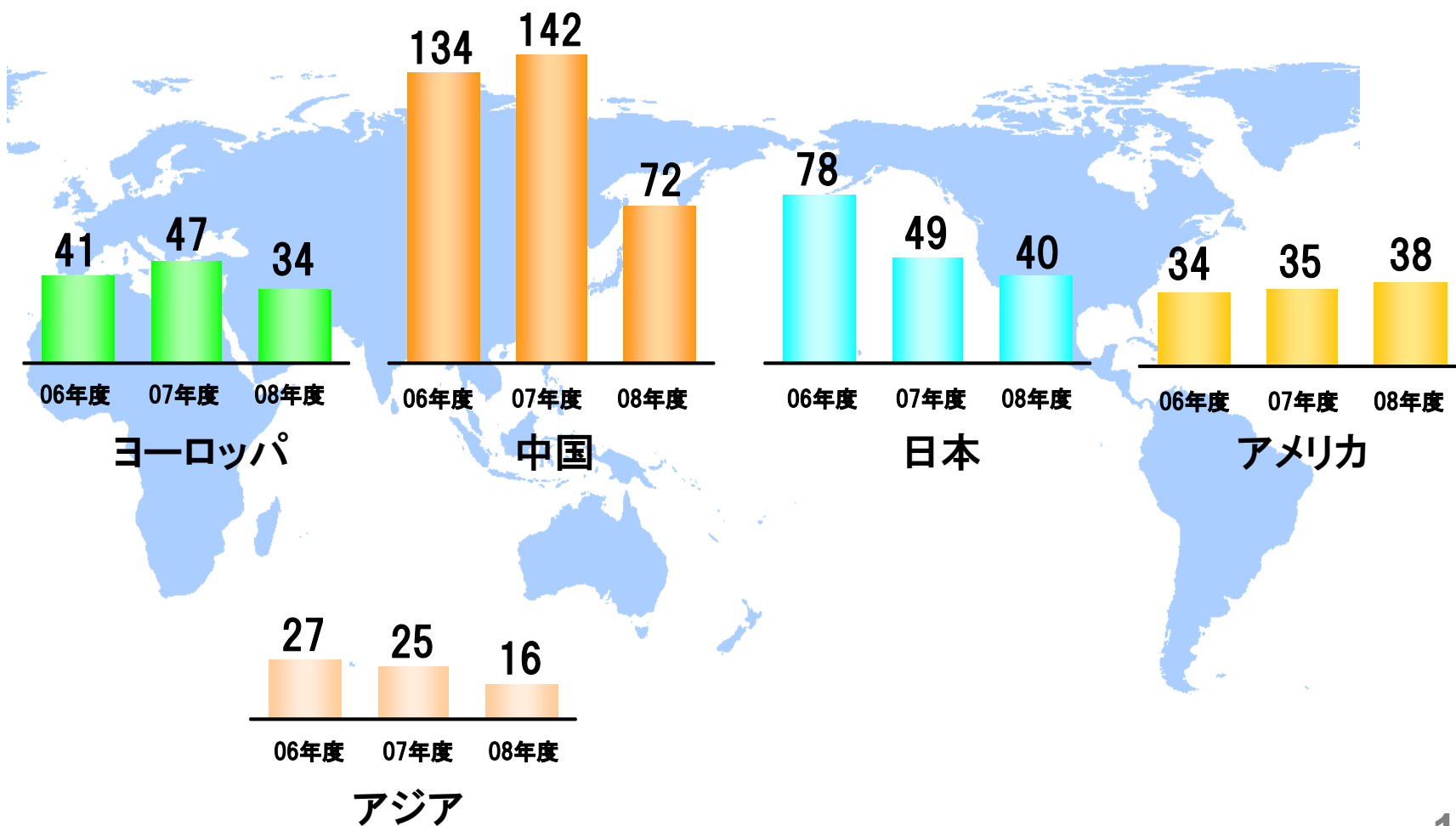


08下期の売上高は前年同期比50%減の74億円

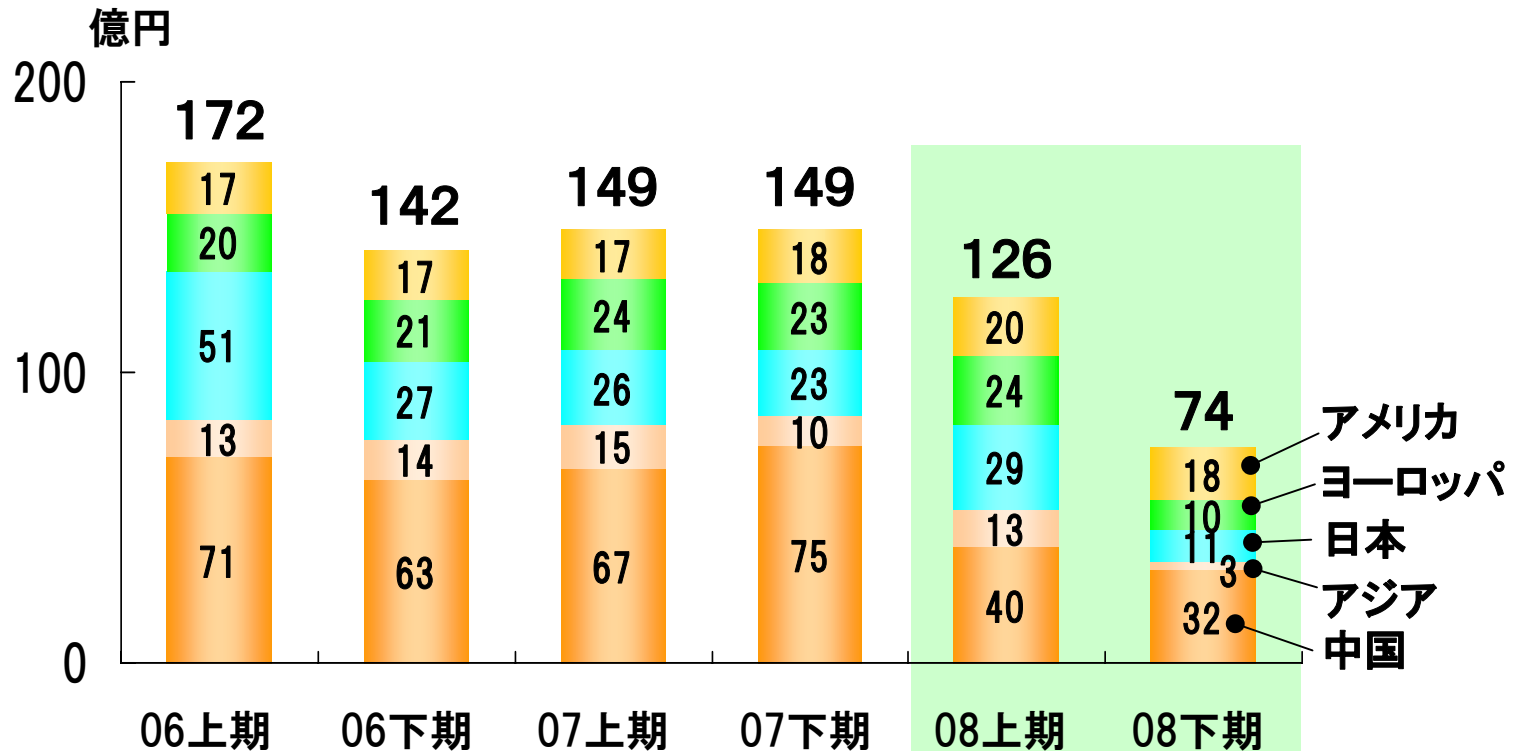


中国は前年比半減

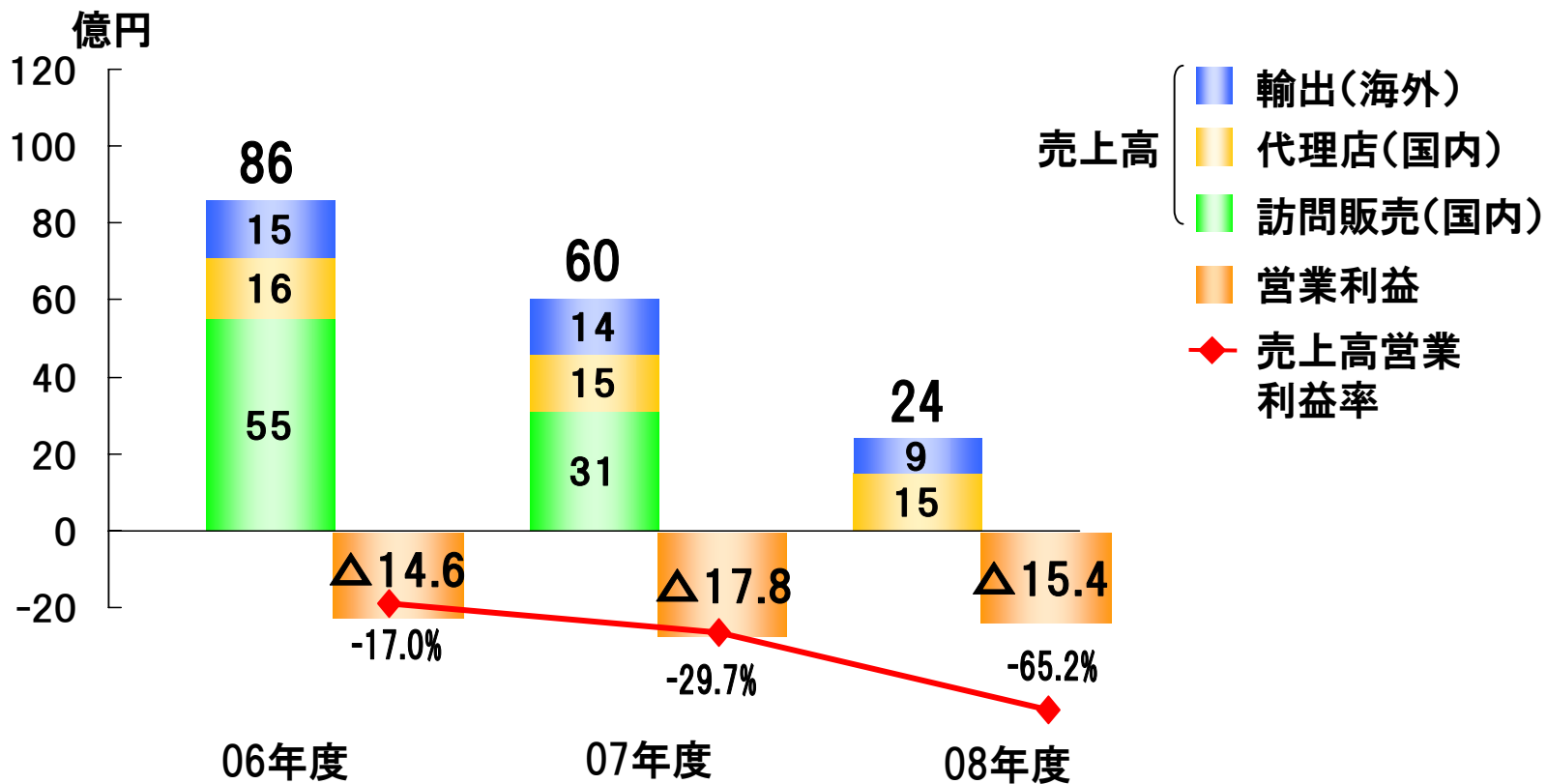
金額:億円



08下期はアジア、日本、ヨーロッパが大幅減少

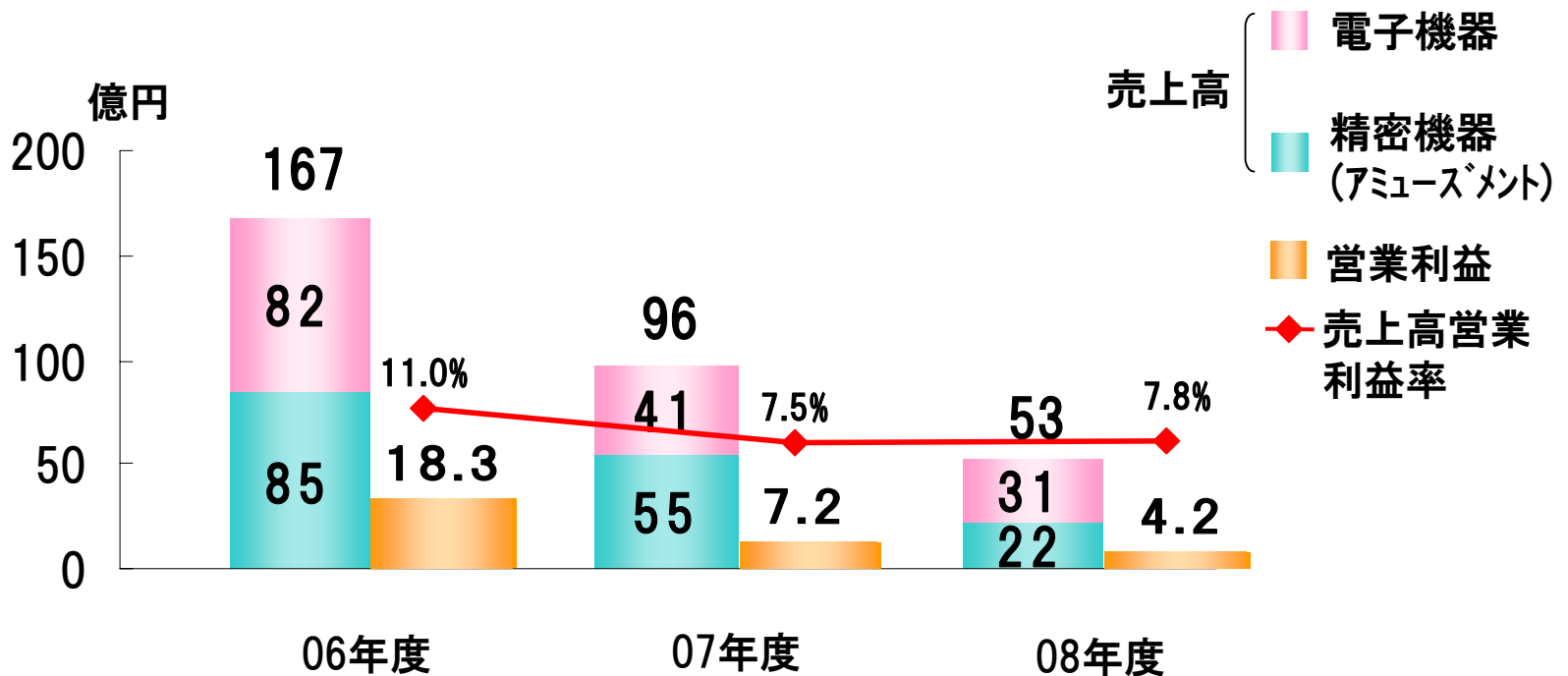


訪問販売から完全撤退



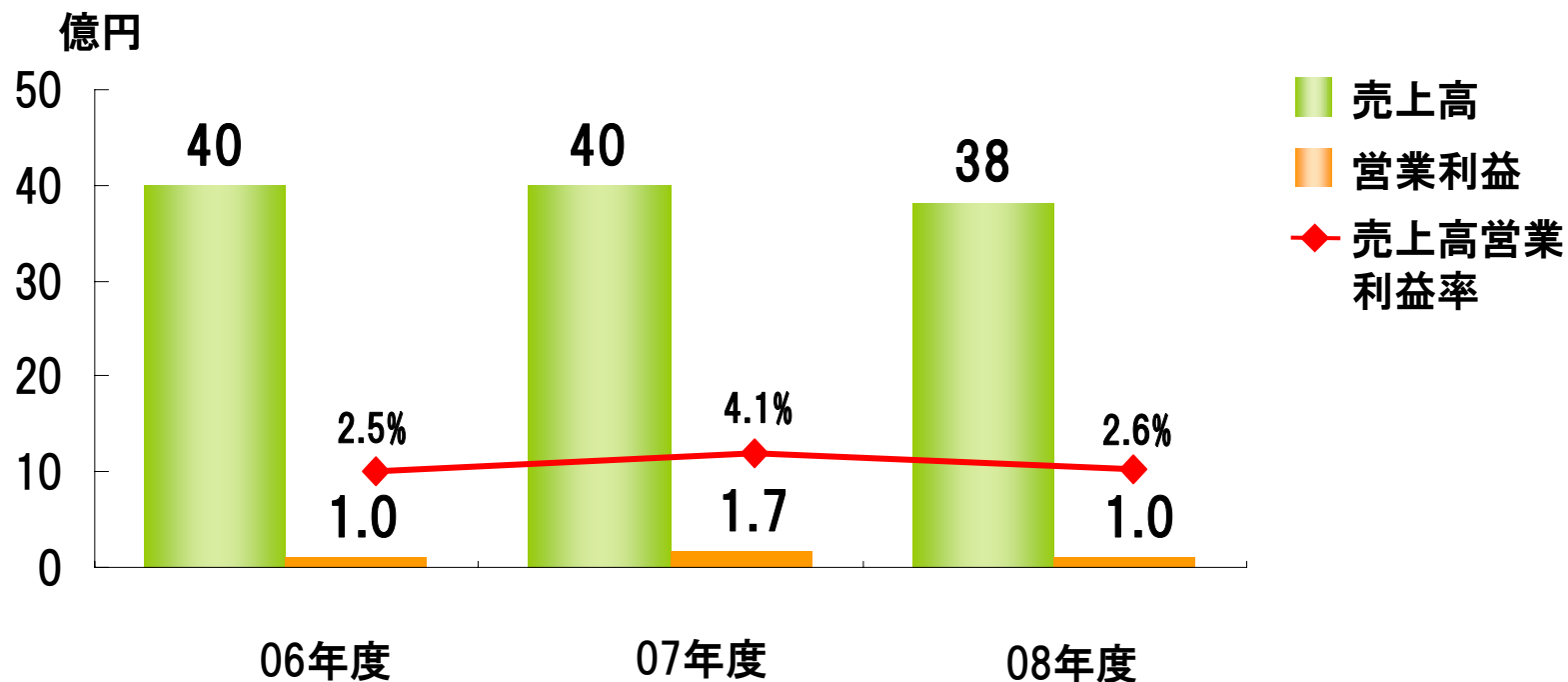
家庭用マシン事業の再構築は概ね完了

精密機器事業の大幅縮小

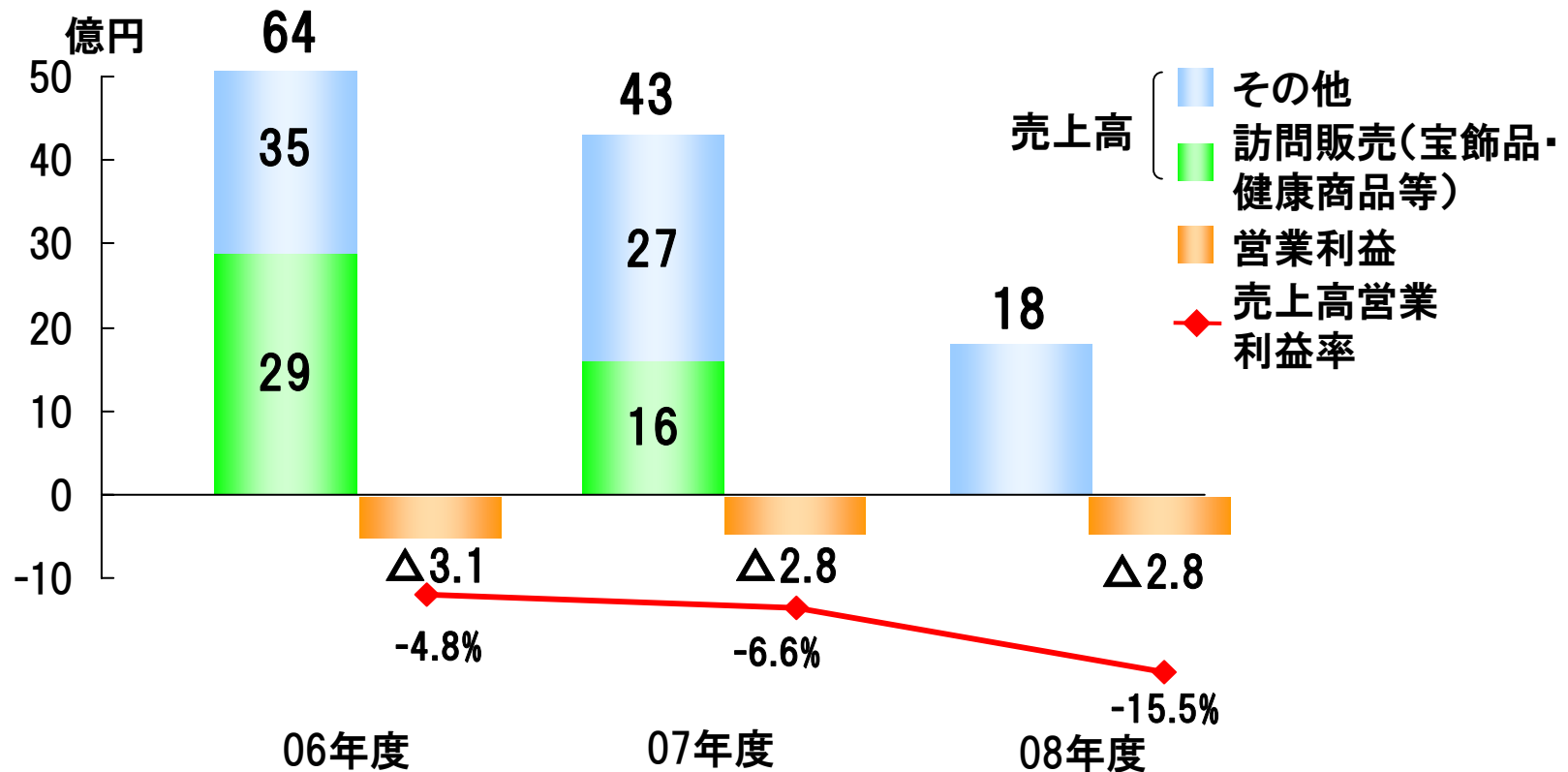


精密機器は赤字構造に転化。抜本の見直しを開始

売上高は微減。収益性の改善が課題

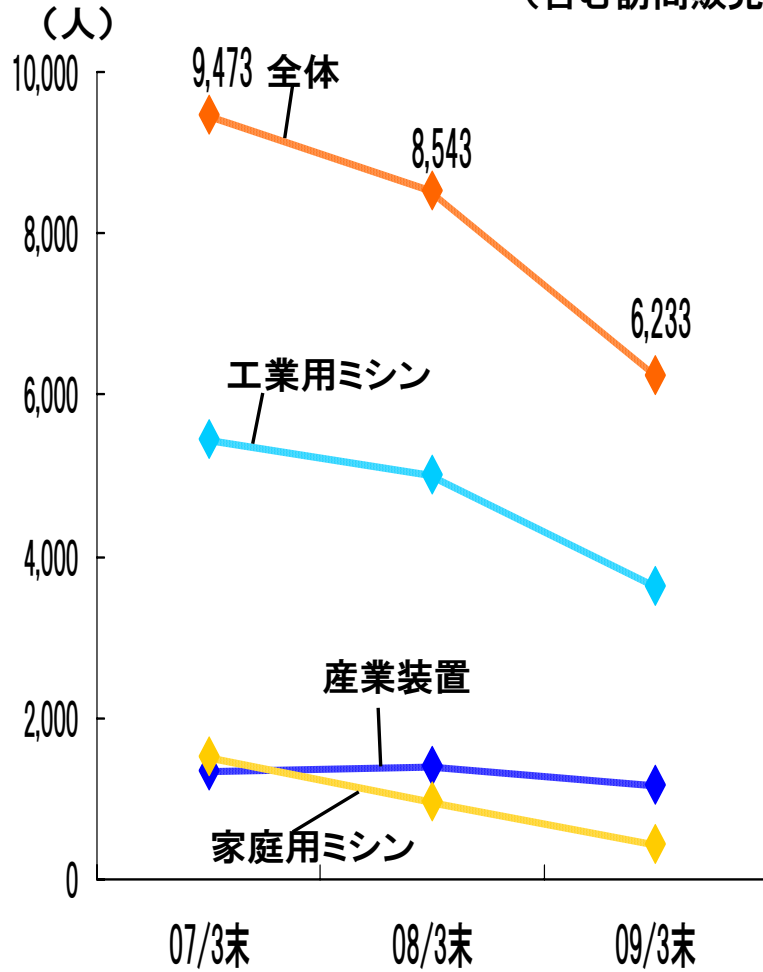


訪問販売(宝飾品等)から完全撤退

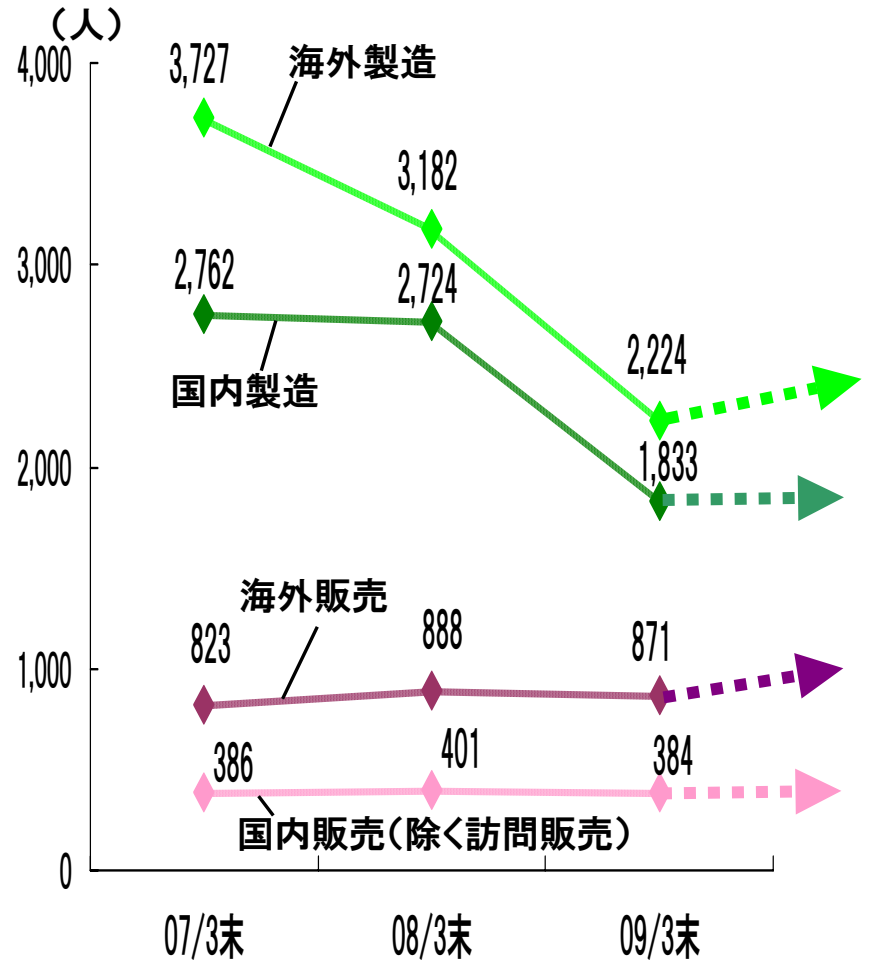


【主要セグメント別実働人員推移】

(含む訪問販売)



【製造/販売別人員推移】



第3部

10/3期(09年度)計画と事業戦略

工業用マシン、産業装置のシェア拡大等を柱に 第4四半期黒字化に向け総力を結集

(ご参考)

09年度に期待可能な主なリストラ効果

- ①工業用マシン事業関連18億円
- ②家庭用マシン事業関連14億円
- ③その他8億円

新興国内需市場対策を軸にシェア拡大を図る

単位:億円

市場区分	主たる 競合 メ-カ-	市場規模※ JUKI売上高	商品・販売戦略	2007年 JUKI シェア	5年後の シェア
主要 ターゲット 市場	日本 欧州	1,550 770	・戦略的商品の投入により シェア低下を阻止 (DDL-9000B、MF-7700D等)	50%	 40%
新興国 内需市場	中国 台湾 韓国	850 0	・柔軟な価格政策により市場開拓	—	 30%
その他 市場	日本 欧州	300 0	・新商品(省力機・自動機)の投入 により市場開拓	—	 15%
合計		2,700 770	※競合メーカー19社の売上高(06年度、 07年度)をベースに当社にて推計	29%	34%

主要
ターゲット
市場

【DDL-9000B】



新しい糸切り装置を搭載し、省電力かつ低価格を実現した最先端の自動糸切りミシン

2009年10月発売予定

【MF-7700D・7800D】



針まわりのノンオイル化を実現した、世界初のセミドライヘッド飾り縫いミシン

2009年6月発売予定

その他
市場

【ASN-690】



操作性をシンプルにし、低価格化を実現した自動縁かがりミシン

2009年4月発売済

【AE-200A】

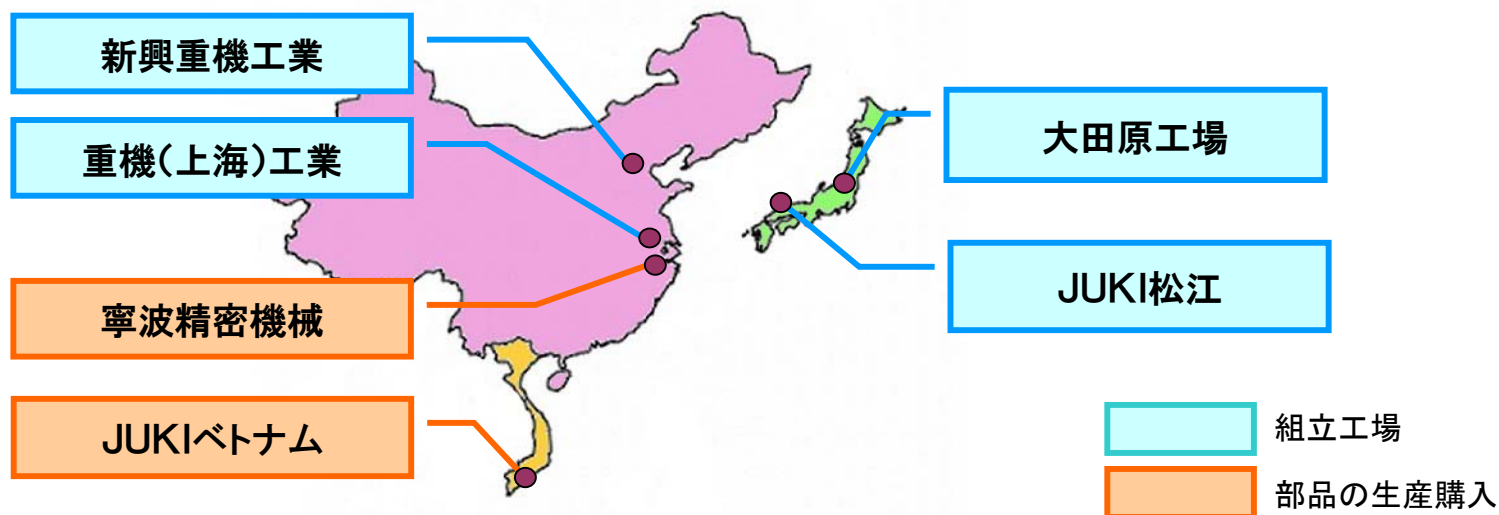


段取り替えを大幅簡略化した、デジタル制御のエッジコントロールシーマー

2009年10月発売予定

低コスト化と円高対策のために、海外展開を加速

部品	自社生産	国内縮小(09年上期中に4工場を閉鎖)
		海外拡大(中国、ベトナムで増産)
	外部購入	海外調達を拡大
組立	国内	縮小後の現体制を維持
	海外	中国生産を拡大。ベトナム工場の活用も視野に



高速機分野への本格的参入により、シェア拡大

単位:億円

商品区分		主たる 競合 メ-カ-	市場規模※ JUKI売上高	商品・販売戦略	2007年 JUKI シェア	5年後の シェア
チップ機	高速機	日本 欧州 米国	1,800 0	①FX-3の販売拡大 ②電動フィーダの市場投入	—	 10%
	中低速機	日本 韓国	500 100	・廉価商品の販売拡大	20%	 20%
汎用機		日本 米国	900 80	・新商品(電動フィーダ対応) の投入	9%	 12%
合計			3,200 180	※業界データ(07年度マウンタ本体 売上高)をベースに当社にて算出	6%	12%

高速機

【FX-3】



【電動フィーダ】



モータ制御により、部品送りの安定性を向上
(当社初の電動フィーダ)

2009年6月発売予定

チップ部品搭載速度60,000CPH
(最適条件時74,000CPH)

2008年5月発売済

中低
速機

【FX-2】



FX-1Rの後継機、搭載速度20%アップ
チップ部品搭載速度30,000CPH(最適条件時40,000CPH)

2008年12月発売済

【JX-100】



BRICs向け市場開拓用低価格機
チップ部品搭載速度14,400CPH

2009年1月発売済

- | | |
|--------|--|
| 03年12月 | ・国内組立工場を集約(2→1工場) |
| 06年3月 | ・訪問販売拠点32ヶ店を閉鎖(訪問販売撤退に向け事業体制の縮小を開始) |
| 06年12月 | ・中国組立工場を集約(2→1工場) |
| 07年4月 | ・JUKI家庭製品(株)設立(訪問販売部門を分社化) |
| 07年11月 | ・集中修理サービス体制の確立 |
| 08年2月 | ・訪問販売活動を停止(全組織を対象に希望退職実施) |
| 08年3月 | ・JUKI家庭製品お客様センター(株)設立(訪問販売撤退後のアフターサービス専門会社) |
| 08年4月 | ・JUKI家庭製品(株)解散 |
| 08年10月 | ・家庭用ミシン事業部を廃止し、JUKI「家庭用ミシン部」(海外販売)と「JUKI家庭用ミシン販売(株)」(国内販売)を設立
・組立工場を中国工場に集約 |
| 09年4月 | ・ <u>新商品Exceed発売</u> |
| 09年5月 | ・JUKI家庭用ミシン(株)設立(JUKI「家庭用ミシン部」と「JUKI家庭用ミシン販売(株)」を統合) |

新商品

【Exceedシリーズ】



工業用ミシン技術を応用し、
高レベルの縫い品質と縫い
性能を実現した新型中級
コンピュータミシン

08年3月19日
経済産業省による行政処分
(3月20日より6ヶ月間訪問販
売活動を停止する行政処分)

新商品投入と販売体制の再構築により、攻めの体制がスタート

円高をはね返し、最終赤字は縮小

単位:百万円

	2008年度 (A)	2009年度 計画 (B)	増減額 (B-A)
売上高	77,832	78,000	168
営業利益	△4,975	△3,200	1,775
経常利益	△5,259	△4,000	1,259
当期純利益	△9,347	△4,000	5,347
為替レート	1ドル=102.81円 1ユーロ=152.06円	1ドル=95円 1ユーロ=125円	1ドル=△7.81円 1ユーロ=△27.06円

工業用マシン、産業装置のシェア拡大により、精密機器の減少をカバー

単位:百万円

	2008年度 (A)	2009年度 計画 (B)	増減額 (B-A)
工業用マシン	44,584	49,000	4,416
産業装置	19,960	19,000	△960
家庭用マシン	2,356	2,300	△56
電子・精密機器	5,339	2,000	△3,339
精密鑄造	3,755	4,000	245
その他	1,835	1,700	△135
売上高合計	77,832	78,000	168

工業用マシンは価格戦略を先行させるため、売上高増にもかかわらず赤字が拡大。新商品効果は下期にずれ込み

単位:百万円

	2008年度 (A)	2009年度 計画 (B)	増減額 (B-A)
工業用マシン	△258	△900	△642
産業装置	△1,793	△600	1,193
家庭用マシン	△1,536	△140	1,396
電子・精密機器	415	180	△235
精密鋳造	98	160	62
その他(含む消去)	△1,900	△1,900	0
営業利益合計	△4,975	△3,200	1,775

1. 配当に関する基本方針

- ・財務基盤の充実を図りつつ、株主様への利益還元而努力

2. 2009年度の配当は、厳しい環境下 見送らざるを得ない状況

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI株式会社

お問合せ先： 総合企画部 担当：寒川^{そう がわ}

TEL :03-3480-1957 FAX :03-3480-9734

ホームページURL: <http://www.juki.co.jp/>